

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.40
2010.12

JAくしろ丹頂



TPP交渉参加断固阻止 釧路地区総決起大会でのガンパロウ三唱!! (釧路キャッスルホテル)

C O N T E N T S

- TPP交渉参加断固阻止 釧路地区総決起大会 1
- ザ・シンポジウムみなとin釧路
JAくしろ丹頂酪農振興会視察研修 2
- JAくしろ丹頂女性部鶴居支部「かあさんDAY」
JAくしろ丹頂女性部フレッシュミズ交流会 3
- 普及センターだより 4
- 飲酒運転絶対禁止!! 5
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報 6
- 年末年始休業予定表 7



JAくしろ丹頂女性部フレッシュミズ交流会

TPP交渉参加断固阻止!!

『釧路地区総決起大会』開催



釧路地区酪農対策協議会 瀧澤義一委員長により大会決議を採択

12月11日、釧路キャッスルホテルにおいて、「TPP交渉参加断固阻止釧路地区総決起大会」が、釧路地区農業協同組合長会（河村信幸会長）・釧路地区酪農対策協議会（瀧澤義一委員長）主催により開催されました。

開催の経緯となっているTPP（環太平洋連携協定）は、関税が原則撤廃、非関税処置等に関しても完全自由化を目指すとともに、農林水産物輸出大国等複数の参加により、釧路管内及び北海道の第一次産業に計り知れない影響を与え、釧路及び北海道農業・経済・地域社会の崩壊を招くこととなります。TPPへの原則反対と、これまで政府の国際交渉の基本理念である「守るべきものは守る」という姿勢を断固貫く対応を訴えるとともに、農山漁村に住む人々が伝統文化を守りながら安全安心な食料を供給している、「この国のかたち」がいかにあるべきかを道民各層で考える端緒とするために開催されました。

当日は、釧路の生産者（漁業者、林業者、農業者）、消費者団体、経済団体、関係団体合わせて約千人が参加し、当JAからは、組合員、役員員合わせて百人が参加しました。

大会では、河村信幸会長より、「TPPを締結した場合の影響は、管内で千九百四十七億円の損失、一万五千人の雇用が失われ、今以上に経済は衰退し、地域の切り捨てとなる。この大会を契機に、私達が先頭に立って交渉阻止へのうねりをより大きくしていこう!!」と呼びかけました。

また決意表明では、JA釧路地区青年部協議会及び釧路地区漁協青年部連絡協議会代表から「先祖の築いてきた歴史、人間を守る大事な一次産業をなくしてはならない!!」と訴えました。そして、大会決議事項である ①例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加反対 ②政府は、これまで同様全ての貿易交渉にあたり、例外処置として重要品目の関税を維持するべき ③地域のあり方や、この国の進むべき方向について、十分に時間をかけ議論を深め、国民の合意形成を図るべき ④の三項目について決議を採択し、政府や国会、広く国民、道民、釧路地区の方々に、主張への理解と賛同を強く訴え、最後にTPP交渉参加阻止に向け、参加者全員によるガンバロウを三唱し決意を示しました。

釧路バルク港選定推進総決起大会「ザ・シンポジウムみなとin釧路」開催 テーマ「日本の食生活を支える東北海道と釧路港」



11月16日、釧路プリンスホテルにおいて、「ザ・シンポジウムみなとin釧路」及び「釧路バルク港選定推進総決起大会」が開催されました。

釧路港が指定獲得を目指している、バルク（ばら積み貨物）の中で「三大バルク」（穀物、鉄鉱石、石炭）の一括大量輸送拠点港湾を選定するプロジェクトのうち、釧路港は穀物拠点を指定獲得に向け、今回の決起大会が開催されました。

大会には約570名が参加し、蝦名釧路市長に思いを託し、国に対するプレゼンに向けて参加者全員が拳を突き上げ決意を新たにしました。

シンポジウムでは、釧路公立大学学長小磯修二氏による講演が行われました。講演後には「日本の食生活を支える東北海道と釧路港の未来」と題してパネルディスカッションが行なわれ、パネリストに釧路地区酪農対策協議会委員長として当JA瀧澤義一組合長が参加し、釧路港が国際バルク戦略港湾に指定された際の輸入穀類飼料に対するコスト減等について意義を訴えました。

食料供給基地東北海道及び、釧路港が果たすべき役割等、港湾の必要性を道民の方々に理解して頂き、広く港湾をアピールするとともに、今回のシンポジウムが市民の方々と共に考えていく、大きな意味をなす契機となりました。

JAくしろ丹頂酪農振興会視察研修を実施

11月11日、12日の2日間の日程で、4支部の会員及び事務局合わせて15名の参加者により、十勝方面への視察研修を実施しました。

初日の明治乳業(株)十勝チーズ館の視察では、製造チーズ（モッツアレラ・ゴーダ・チェダー）について説明を受け、工場内を見学しました。

また、北海道バイオエタノール(株)十勝清水工場では、小麦、ビートの等外品を原料とする製造工程などについて説明を受けました。

2日目は、よつ葉乳業十勝主管工場（音更町）では、牛乳の製造工程等について視察し、2日間にわたる研修が無事に終了しました。



北海道バイオエタノール(株)
十勝清水工場



明治乳業(株)
十勝チーズ館（芽室町）

JAくしろ丹頂女性部鶴居支部「かあさんDAY」開催



研修会時のレインボー体操（写真は口の運動）

12月1日、JAくしろ丹頂女性部鶴居支部による「かあさんDAY」が、グリーンパークつるいで24名の参加により開催されました。

「かあさんDAY」は、「一年の頑張りを部員が共にねぎらい、疲れをいやすために一日をゆっくり過ごそう」という目的で、1年に1度この時期に開催されており、今年はJA北海道中央会農業振興部 家の光専任



懇親会後にJA女性の歌を斉唱

指導員 萩原一美氏を講師に招き、「からだと心の老化予防」―笑い与健康―「笑う門には福来る」と題し、笑顔の力の凄さや笑いの効用として、①運動効果 ②脳の活性化 ③免疫力の向上などについて学びました。

研修後は食事をしながらの懇親に話しもはずみ、和やかなうちに終了しました。

JAくしろ丹頂女性部フレッシュミズ交流会 開催



ポテトピザ作り

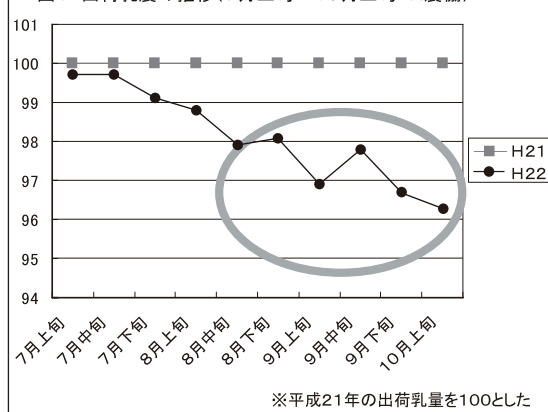
12月6日、釧路市農村交流センター山花温泉リフレにおいて、JAくしろ丹頂女性部フレッシュミズ交流会が開催されました。

この交流会は、部員相互の交流と研修を通じて組織活動の活性化を図ることを目的に行なわれ、各支部から集まった部員9名により、山花温泉リフレ加工実習体験施設において、当施設職員指導のもと「ポテトピザ作り」を行ないました。

ピザソース、好みの野菜、チーズなどの材料で程よく焦げ目がつくように焼き上げられた手作りのピザは上手に出来上がり、「また料理講習会をやりたい」「自宅でも作って食べたい」という声が多く聞かれました。

また、子供連れの部員もいる中で、料理講習会後は、昼食をとりつつ日頃の農作業や育児などについて、情報交換を行ない部員同士の親睦をはかりました。

図1 出荷乳農の推移(7月上旬～10月上旬 K農協)



来年に向けて送風機を設置を検討しましょう

今年の夏は、記録的な暑さに見舞われました。牛の荒い息づかいは、今となっても記憶に新しいのではないのでしょうか。

こんな年だからこそ、「今年だけ」と楽観せずに、来年の営農に向けて、今から十分に検討しておく必要があります。

◆**今年の暑熱ストレスによる影響**
今年のある地区の出荷乳量を図1に示しました。7月移行の出荷乳量が大きく減少し、未だ回復の兆しが見えません。



写真1 つなぎ牛舎の通路に送風機を設置している事例

猛烈な暑熱下では、牛は少しでも暑さを緩和させようと、エサを食うよりも、呼吸やベットに寝ずに立ち尽くすこと優先させるので、採食量が著しく減少します。そのため、乳量の減少や乳房炎により廃棄乳が増加したことが大きく影響しています。

今後の反省から、牛の暑熱ストレス軽減策は急務といえます。

◆**暑熱対策の切り札「送風機」**
牛から暑熱ストレスを取り除くためには、強い風を牛体に直接あ

てることが特に有効です。今年のような暑さでは、自然風ではどうしても不足するので、送風機の設定が必要となります。

つなぎ飼いは、送風機を通路に吊したり(写真1)、トンネル換気を検討します。

フリーストールなどでは、パラー待機室、飼槽に牛が並ぶところ、ベットの上部への設置を検討します(写真2)。



写真2 牛体に風が直接あたるように送風機を設置

〈**今年の夏でも、送風機を活用し乳量を減少させなかった事例**〉
図二には七月から九月までの平均日乳量の推移を、牛体に風を直接あてているかどうかで区分し、グラフにしています。

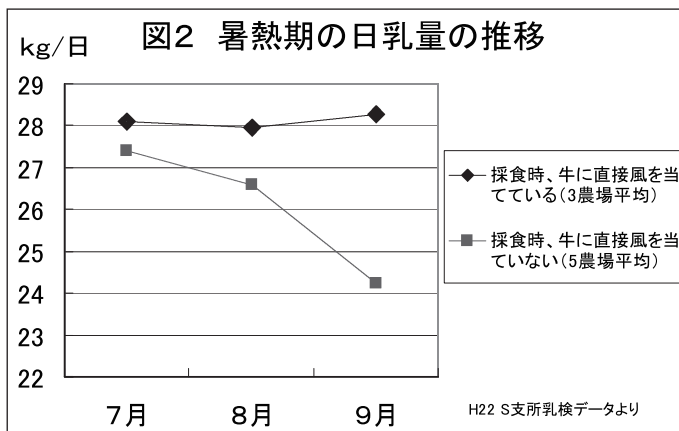


図2 暑熱期の日乳量の推移

風を牛体に直接あてている農場は、そうでない農場と比較すると、暑熱期であっても日乳量の変動が少ないことが分かります。

この事例から、送風機設置や電気代などのコストがかかっても、牛の体調を維持し、乳量を減らさないことで、それを上回る利益が得られることが分かりました。

もちろん暑熱対策は、送風機を設置することだけではありませんが、有効な手段でありますので、来年に向けて是非ご検討ください。

酒酔い運転

罰則

5年以下の懲役または
100万円以下の罰金

違反点

35点→免許取消し

酒気帯び運転

罰則

3年以下の懲役または
50万円以下の罰金

違反点

13点(0.15以上0.25mg未満)→免許停止
25点(0.25mg以上)→免許取消し

※()内の数値は呼気1リットル中のアルコール濃度

明日を失う 飲酒運転

飲酒運転で車4台に
次々衝突、8人に軽傷を
負わせて懲役2年半に

2008年3月、飲酒運転をして停車中の車に追突し、逃走。途中、3台の車に衝突し計8人に軽傷を負わせた男に対し、裁判長は自動車運転過失傷害などの罪で懲役2年6か月(執行猶予5年)の有罪判決を下しました。



酒類提供の禁止

酒酔い運転の場合

罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金

酒気帯び運転の場合

罰則 2年以下の懲役または30万円以下の罰金

明日を失う 飲酒運転

懲戒免職取り消しを求めた
訴訟で元市役所職員の
請求が棄却

2005年5月に酒気帯び運転で逮捕され、略式起訴により罰金刑を受けた市役所職員が同月、懲戒免職になりました。これを不服として市に処分の取り消しを求め訴訟を起こしましたが、裁判長は「違法な処分とは言えない」と請求を棄却しました。



厳罰!! 飲酒運転に明日はない

明日を失う 飲酒運転

飲み会帰りに飲酒運転・
同乗した男女6人に合わせて
140万円の罰金

2007年10月、飲み会帰りに乗用車(定員5人)に6人乗りをしていた運転者と同乗者が摘発され、酒気帯び運転の運転者に30万円の罰金、同乗者も全員が運転者の飲酒運転を知っていたことから、車を貸した者に30万円、他の4人にそれぞれ20万円と、全員で計140万円の罰金が科されました。



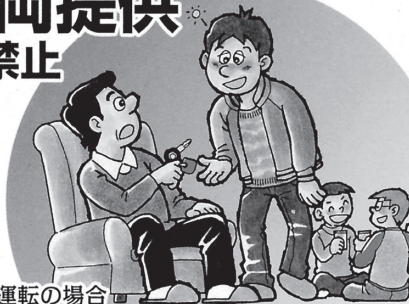
車両提供の禁止

酒酔い運転の場合

罰則 5年以下の懲役または100万円以下の罰金

酒気帯び運転の場合

罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金



明日を失う 飲酒運転

ネット日記で飲酒運転告白、
勤務先が「冗談でも不謹慎」と解雇

実名でインターネット日記を公表していた男が2007年4月、「飲酒運転などの違反で捕まったが、駐在さんが見逃してくれた」などと書き込んだため、管轄署から事情聴取を受け、「冗談だった」と釈明し厳重注意で放免となりました。しかし男の勤務先の公共組合が「許されない行為」と諭旨解雇処分になりました。



同乗の禁止

酒酔い運転の場合

罰則 3年以下の懲役または50万円以下の罰金

酒気帯び運転の場合

罰則 2年以下の懲役または30万円以下の罰金



理 事 会 報 告

11月定例理事会

平成22年11月25日（木）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 10月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について

議案第2号 大口信用供与先に対する融資の承認について

議案第3号 理事と組合との契約承認について

議案第4号 クミカン当座貸越利率の改定について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 平成23年度酪農畜産政策・価格対策に係る組織討議について

付議事項

議案第1号 畜産経営維持緊急支援資金等の貸付について

■平成22年度 生乳生産実績（11月）

	月計乳量 (kg)	11月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	7,796,225.8	96.2	67,939,082.6	98.4
（鶴居地区）	2,499,851.9	95.4	22,427,304.5	98.2
（幌呂地区）	2,138,142.7	97.5	18,238,045.8	99.6
（白糠地区）	1,849,937.0	97.4	16,098,638.7	99.5
（音別地区）	1,308,294.2	93.8	11,175,093.6	95.2
管内計	41,336,534.6	98.1	359,831,109.1	99.7
（前年度管内計）	42,142,823.6		360,909,477.2	

家畜販売市況情報

乳牛

22年12月1日現在

□予想相場

(単位：千円)

規 格		種 別	登 録 牛	
			上	中
育 成（8～12 ヶ月）		2 8 0	～	2 2 0
初 妊		5 4 0～5 0 0		5 0 0～4 6 0
経 産	2 産 ～ 3 産	4 1 0	～	3 6 0
	4 産 ～ 5 産	3 6 0	～	3 1 0

初生とく

22年12月6日現在

	規 格	単 価
初生とく	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	950円/kg
	40kg～44kg	850円/kg

(提供／ホクレン釧路支所)

黒毛和種

22年11月15日音更市場

(価格：円・体重：kg)

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	577頭	739,200	151,200	353,781	290	1,219
	去勢	842頭	596,400	163,800	435,999	307	1,420

(提供／ホクレン帯広支所)

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE

□今年を振り返ると口蹄疫、乳牛にとっては特に厳しかった「暑い夏」、突発的なTPP問題など、酪農畜産業界を震撼させる問題などが絶えない一年でありました。

□また、TPPなど、来年へ続く問題も多くあり、酪農畜産業界にとって予断を許さない状況は続きます。

□本年も、JAくしろ丹頂広報誌「たんちょう」をご愛読いただき、誠にありがとうございました。

JAくしろ丹頂 年末年始休業予定表

部門 年月日	各 地 区 の 事 務 所			販 売			家畜改良	生 乳	哺育育成 センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白 糠	音 別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成22年12月22日(水)								通常業務		
12月23日(木)	天皇誕生日			定期市場						
12月24日(金)										
12月25日(土)										
12月26日(日)										
12月27日(月)				初生集荷	初生集荷	初生集荷				
12月28日(火)				定期市場（初生のみ）						
12月29日(水)	業務納め		業務納め	業務納め						
12月30日(木)		業務納め								
12月31日(金)							業務納め*			
平成23年 1 月 1 日(土)										
1 月 2 日(日)							業務始め*			
1 月 3 日(月)										
1 月 4 日(火)		業務始め								
1 月 5 日(水)				業務始め 初生集荷	業務始め 初生集荷					
1 月 6 日(木)	業務始め		業務始め	定期市場（初セリ）		業務始め				
1 月 7 日(金)						初生集荷				
1 月 8 日(土)										

年月日	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成22年12月22日(水)	売り出し			売り出し					売り出し		
12月23日(木)			天皇誕生日					天皇誕生日			天皇誕生日
12月24日(金)	売り出し										
12月25日(土)	(抽選開始)↓			(抽選開始)					(抽選開始)		
12月26日(日)											
12月27日(月)	年末大売出し			年末大売出し							
12月28日(火)									年末大売出し		
12月29日(水)			業務納め			業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(木)				業務納め	業務納め						
12月31日(金)	業務納め*	業務納め*					業務納め*		業務納め*	業務納め*	
平成23年 1 月 1 日(土)											
1 月 2 日(日)											
1 月 3 日(月)		業務始め			業務始め*						
1 月 4 日(火)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1 月 5 日(水)									午後6時まで		
1 月 6 日(木)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め
1 月 7 日(金)											
1 月 8 日(土)											

*午前中のみ営業となります。 営 業 日 休 業 日 1/8(土)は、全業務午後4時までの営業となります。

・ 万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎0120-25-8931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、中村 (64-2954) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸 (57-8388) に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、菊地 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、菊地 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、北釧運輸 (23-7680) に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、石渡 (自宅2-3515携帯090-3396-0623) に連絡して下さい。

- ・ 給油スタンドに関することは、給油所(2-2084)に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・ Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・ 生産資材に関することは、春日 (6-2020) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・ 12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。